

愛西市男女共同参画に関するアンケート ご協力をお願い

日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

愛西市では、「第4次愛西市男女共同参画プラン」に基づき、男女がお互いを尊重し合い、個性が生きる“男女共同参画社会”を目指してさまざまな取り組みを実施してまいりました。

このたび、「第5次愛西市男女共同参画プラン」の策定を進めていくために、アンケートを実施いたします。アンケートは、皆様の意識や実態を把握するもので、調査結果は、今後の市の事業を検討するうえでの基礎資料とします。

愛西市にお住まいの満18歳以上の方から2,000人の方を無作為に抽出しました結果、あなた様が対象になりました。この調査は無記名でご回答いただき、調査結果はコンピュータにより統計的に処理いたします。個別の回答等を公表してご迷惑をおかけすることは一切ございません。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和8年●月

愛西市長 日永 貴章

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・何らかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和8年●月●日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を（ ）内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、●月●日（●）までにご返送くださいますようお願いいたします。（切手は不要です）

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

愛西市役所 市民協働部 市民協働課

電話（0567）55—7113（ダイヤルイン）

インターネット回答用ID

本調査は、インターネットで回答いただくこともできます。

その場合には、上記のインターネット回答用IDを入力の上、ご回答ください。

※このIDは、重複回答を防ぐために無作為に設定しているもので、個人を特定されることはありません。

QRコード

↑インターネット回答は
こちらからどうぞ

男女の平等感について

問1 あなたは、10年前に比べて男女平等が進んだと思いますか。（1つを選んで数字を記入）

	回答欄
1. 大いに進んだと思う	
2. やや進んだと思う	
3. あまり進んでいないと思う	
4. まったく進んでいないと思う	
5. その他（具体的に： _____）	
6. わからない	

問2 あなたは、次のA～Hのそれぞれの項目について、男女の地位は平等になっていると思いますか。
（それぞれ1つを選んで数字を記入）

選択肢

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている



	回答欄
A. 家庭生活	
B. 職場	
C. 学校教育の場	
D. 地域活動の場	
E. 政治の場	
F. 法律や制度上	
G. しきたりや習慣	
H. 社会全体	

生活・教育などについて

問3 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどのように思いますか。
(1つを選んで数字を記入)

	回答欄
1. 賛成	
2. どちらかといえば賛成	
3. どちらともいえない	
4. どちらかといえば反対	
5. 反対	

) → 【問3-2へ】

【問3-1は、問3で「1. 賛成」「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。】

問3-1 それはなぜですか。(あてはまるものすべて数字を記載)

	回答欄
1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから	
2. 自分の両親も役割分担をしていたから	
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	
4. 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから	
6. その他(具体的に:)	

【問3-2は、問3で「4. どちらかといえば反対」「5. 反対」と答えた方にお聞きします】

問3-2 それはなぜですか。(あてはまるものすべて数字を記載)

	回答欄
1. 男女平等に反すると思うから	
2. 自分の両親も外で働いていたから	
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから	
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから	
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから	
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから	
7. その他(具体的に:)	

【次の問は、現在、配偶者（パートナー）と暮らしている方にお聞きします。】

問4 あなたの家庭では、次のA～Kのそれぞれの項目について、主に誰が行っていますか。
（それぞれ1つ選んで数字を記入）

項 目	自分	両方同じく らい	配偶者（パ ートナー）	その他の人	家族全員	該当しない	回答欄
A. 家の中の掃除	1	2	3	4	5	—	
B. 洗濯	1	2	3	4	5	—	
C. 買い物	1	2	3	4	5	—	
D. 食事のしたく	1	2	3	4	5	—	
E. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	—	
F. ごみ出し	1	2	3	4	5	—	
G. 家計の管理	1	2	3	4	5	—	
H. 育児、乳幼児の世話	1	2	3	4	5	6	
I. 看病や介護	1	2	3	4	5	6	
J. 町内会行事などへの参加	1	2	3	4	5	6	
K. 授業参観などの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	

【すべての方にお聞きします。】

問5 子どもの男女平等の関係のため、親や大人が心がけるとよいと思うことはなんですか。
（3つまで選んで数字を記入）

	回答欄
1. 子どもとの会話の中で、性別に関する固定観念を押し付けない	
2. 家事や子育て、介護などについて、性別に関わらず学習させる	
3. 性別に関わらず、子どもたち全員が協力して取り組める機会を設ける	
4. お互いを思いやり、尊重し合う気持ちを養う	
5. 子どもの進路について、積極的に話し合う	
6. 性に関する正しい知識を身につけさせる	
7. 家庭や地域で、様々な性別の人々が対等に協力し合う姿を見せる	
8. その他	
9. 特にない	

問6 あなたは、地域の防災・災害対策の体制づくりにおいて、男女共同参画の視点で特に何が必要であると思いますか。（2つまで選んで数字を記入）

	回答欄
1. 男女共同参画の視点での防災に関する研修会などの学習機会	
2. 防災訓練や防災研修会へ男女ともに積極的に参加すること	
3. 女性の防災リーダーや女性消防団員等の育成や役員への登用	
4. 自主防災組織に女性が増えるように努めること	
5. 全ての性別の人がともに安全・安心に避難所を利用するための避難所運営マニュアル	
6. その他	

社会参加について

問7 生活の中での優先度についてお聞きします。あなたの「A. 希望」、「B. 現実（現状）」に最も近いものを、それぞれ1つだけ選んでください。（それぞれ1つ選んで数字を記入）

	回答欄	
	A. 希望	B. 現実（現状）
1. 仕事を中心とした生活		
2. 仕事と家庭生活のバランスが取れた生活		
3. 家庭生活(家事、育児など)を中心とした生活		
4. 地域活動を大切にした生活		
5. 趣味や自由な時間を大切にした生活		
6. その他（具体的に： ）		

問8 今後、全ての人が家事や地域活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべて数字を記入）

	回答欄
1. 家事などの参加に関する抵抗感をなくすための啓発を行う	
2. 家庭やコミュニティ内でのコミュニケーションを活性化させる	
3. 役割分担についての各個人の考え方を尊重する社会を築く	
4. 家事や育児、介護、地域活動についての社会的評価を高める	
5. 働き方を見直し、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	
6. 育児休暇や介護休暇などの休暇を取得しやすい環境を整備する	
7. 子どもの頃から、すべての人が家庭生活や地域活動を共同で行うことの重要性を教える	
8. その他（具体的に： ）	

(4) 仕事について

【仕事に従事している方、従事していた方にお聞きします。】

該当しない方は→問13へ

問9 あなたは、役職（管理職以上）に就いていますか（就いていましたか）。（どちらか数字を記入）

1. はい	2. いいえ	回答欄

問10 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

（あてはまるものすべて数字を記入）

1. やりがいのある仕事ができる	2. 賃金が上がる	回答欄
3. 能力が認められた結果である	4. 家族から評価される	
5. 自分自身で決められる事柄が多くなる	6. やるべき仕事が増える	
7. 仕事と家庭の両立が困難になる	8. その他（具体的に： ）	
9. 特にない		

問11 あなたの職場（元職場）では、次のA～Iの項目について、公平な扱いがされていると思いますか。（それぞれ1つ選択し数字を記載）

項 目	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	回答欄
A. 募集や採用	1	2	3	4	5	
B. 賃金	1	2	3	4	5	
C. 業務（内容・責任）	1	2	3	4	5	
D. 昇進・昇格	1	2	3	4	5	
E. 管理職への登用	1	2	3	4	5	
F. 能力評価	1	2	3	4	5	
G. 研修（機会・内容）	1	2	3	4	5	
H. 働き続けやすさ	1	2	3	4	5	
I. 休暇の取得しやすさ （育児・介護休暇を含む）	1	2	3	4	5	

【仕事をやめたことがある方にお聞きします。】

問 12 あなたが、仕事をやめた理由は何ですか。(主なもの1つ数字を記載)

		回答欄
1. 結婚のため	2. 出産・育児のため	
3. 親や病気の家族の介護をするため	4. 労働条件に不満があったから	
5. 仕事の内容が合わなかったから	6. 病気や怪我のため	
7. ハラスメント（嫌がらせ）を受けたため	8. 会社の都合で	
9. 資格取得や進学のため	10. その他（具体的に： ）	

【すべての方にお聞きします。】

問 13 あなたが、女性の割合が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。

(あてはまるものすべて数字を記載)

	回答欄
1. 国会議員・都道府県議会議員・市町村議会議員	
2. 都道府県・市町村の首長	
3. 企業の経営者	
4. 職場の管理職	
5. 弁護士・医師などの専門職	
6. 大学・企業などの研究者	
7. 自治会・PTAなどの役員	
8. その他（具体的に： _____）	
9. 特にない	

問 14 以下の項目について、あなたは、誰が行うのが良いと思いますか。（それぞれ 1 つ選択）

項 目	男性が行うのがよい	どちらかというとな男性 が行うのがよい	性別は関係ない	どちらかというとな女性 が行うのがよい	女性が行うのがよい	回答欄
A. 家庭よりも仕事を優先する	1	2	3	4	5	
B. 仕事よりも家庭を優先する	1	2	3	4	5	
C. 子どもが生まれたら、育休を取 って一定期間子育てに専念する	1	2	3	4	5	
D. 家族の介護をする	1	2	3	4	5	

配偶者等からの暴力（DV）について

問 15 あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。（あてはまるものすべて数字を記載）

	回答欄
1. 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を「DV」と呼ぶこと	
2. DVには身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること	
3. DV被害者支援のため「配偶者暴力防止法」が制定されていること	
4. 配偶者暴力相談支援センターで、相談や一時保護を行っていること	
5. DV発見者は、センターや警察に通報するよう努めなければならないこと	
6. その他（具体的に： _____）	
7. 知っていることはない	

問 16 DVの相談窓口について、あなたが知っているものは次のうちどれですか。（あてはまるものすべて数字を記載）

	回答欄
1. 愛知県女性相談センター	2. 愛知県女性相談センター海部駐在室
3. 愛知県警察本部	4. 名古屋法務局
5. 愛西市役所 社会福祉課	6. その他（具体的に： _____）
7. 知らない	

問 17 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。（あてはまるものすべて数字を記載）

	回答欄
1. 暴行を受けたことがある	
2. 殴るふりをされるなど、脅されたことがある	
3. 大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある	
4. 交友関係や電話・メールを細かく監視されたことがある	
5. 何を言っても長期間無視され続けたことがある	
6. 「誰のおかげで生活できるんだ」とか「頼りにならない」と言われたことがある	
7. 生活費を渡さないなど、経済的に押さえつけられたことがある	
8. 外で働くなど言われたり、仕事を辞めさせられたりしたことがある	
9. いやがっているのに性的行為を強要されたことがある	
10. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられたことがある	
11. そのようなことはなかった	

【前の問で「1. ～10.」のいずれかに答えた方にお聞きします。】

問 17-1 配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（どちらか数字を記載）

	回答欄
1. 相談した	2. 相談しなかった

【17-1 で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 17-2 相談しなかったのは、なぜですか。（あてはまるもの全て数字を記載）

	回答欄
1. 誰も相談する人がいなかったから	
2. どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから	
3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから	
4. 相談しても無駄だと思ったから	
5. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	
6. 相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをすと思ったから	
7. 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	
8. 世間体が悪いから	
9. 他人を巻き込みたくなかったから	
10. そのことについて思い出したくなかったから	
11. 自分にも悪いところがあると思ったから	
12. 相談するほどのことでもないと思ったから	
13. その他	

男女共同参画社会について

問 18 あなたは、次のA～Iのそれぞれの用語について知っていますか。（それぞれ1つに○）

項 目	知っている	見聞きしたことはあるが、内容は知らない	知らない	回答欄
A. 男女共同参画社会	1	2	3	
B. ジェンダー	1	2	3	
C. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	
D. ポジティブ・アクション	1	2	3	
E. ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	
F. LGBTQ	1	2	3	
G. 男女雇用機会均等法	1	2	3	
H. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3	
I. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3	

用語解説



A. 男女共同参画社会

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

B. ジェンダー 社会通念や慣習の中にある、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のことを指すもの。

C. セクシャルハラスメント

相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、衆目に触れる場所へのわいせつな写真の掲示など、様々な態様のものを含む。

D. ポジティブ・アクション

様々な分野で、活動に参画する機会の男女間の格差を改善するため、必要な範囲内で、いずれか一方に対して機会を積極的に提供し実施するもの。

E. ワーク・ライフ・バランス 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働きながらも、家庭や地域生活においても多様な生き方が選択・実現できること。

F. L G B T Q

女性の同性愛者（Lesbian レズビアン）、男性の同性愛者（Gay ゲイ）、両性愛者（Bisexual バイセクシャル）、こころの性と身体の性の不一致（Transgender トランスジェンダー）、自身の性的指向や性自認が定まっていない人（Questioning クエスチョニング）の頭文字をとってつくられた言葉。

G. 男女雇用機会均等法 職場における男女の均等取扱い等を規定した法律

H. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

配偶者からの暴力による通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るための法律

問 19 あなたは、男女共同参画社会をつくるため、個人が心掛けることとして何が最も重要だと思いますか。（1つ数字を記載）

	回答欄
1. 「男らしく」「女らしく」ということにとらわれず、すべての人が「自分らしく」行動する	
2. すべての人が独立した人格としての自覚と責任意識を高める	
3. 性別に関する偏見や先入観を持たないように心掛ける	
4. すべての人がお互いに対等な存在として評価・尊重する意識を持つ	
5. その他（具体的に： _____）	

問 20 男女共同参画社会のため、行政は何に力を入れていくべきですか。（あてはまるものすべて選択）

※行政（国・県・市）

	回答欄
1. 法律や制度の面で見直しを進める	
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する	
3. 民間企業・団体（自治会や地域活動団体を含む）等の女性のリーダーを養成する	
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う	
5. 女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する	
6. 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	
7. 子育てや介護等で仕事を辞めた人の再就職の支援をする	
8. 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める	
9. 保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスを充実する	
10. 性別に関わらず、互いの理解や協力についての学校教育・社会教育を充実する	
11. 悩みや問題解決を助ける相談サービスを充実する	
12. その他（具体的に： _____）	

■ 男女共同参画に関して、ご意見がございましたらお聞かせください。

あなた自身のことについて

問 21 ご回答を統計的に分析するために、あなた自身のことをお伺いします。

F 1 性別（1つ数字を記載）

回答欄

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない、分からない、その他

F 2 年齢（1つ数字を記載）

回答欄

1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 職業（1つ数字を記載）

回答欄

1. 勤め人（パートタイム・アルバイトなどを含む）
2. 自営業（農林漁業） 3. 自営業（商・工・サービス業） 4. 自由業
5. 内職 6. 無職 7. 学生
8. その他（具体的に： ）

【F 3－1は、F 3で「1. 勤め人（パートタイム・アルバイトなどを含む）」と答えた方にお聞きします。】

F 3－1 あなたの就労形態をお答えください。（1つ数字を記載）

回答欄

1. 常勤の仕事 2. 非常勤の仕事（パート・アルバイトなど）
3. その他（具体的に： ）

F 4 婚姻の状況（どちらかに○）

回答欄

1. 既婚（事実婚、パートナーと暮らしている場合も含む）
2. 未婚・離婚・死別等により配偶者なし

【F 4－1は、F 4で「1. 既婚」と答えた方にお聞きします。】

F 4－1 共働きをしていますか。（どちらか数字を記載）

回答欄

1. している 2. していない

F 5 お子さんはいますか。（どちらか数字を記載）

回答欄

1. いる 2. いない

F 6 家族構成をお答えください。（1つ数字を記載）

回答欄

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ（一世代家族）
3. 親と子ども（二世代家族） 4. 親と子どもと孫（三世代家族）
5. その他（具体的に： ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、●月●日（●）までに返送してください。